

info

インフォメーション



東京女子医科大学看護学会 第7回学術集会

日時●10/1(土)

会場●東京女子医科大学弥生記念講堂
プログラム●会長講演「看護師のわたしにできること——看護師の臨床の『知』」佐藤紀子(東京女子医科大学看護学部教授)／シンポジウム「実践から探るスペシャリスト活用の知」小泉雅子(東京女子医科大学病院), 中野聖子(東京女子医科大学東医療センター), 小谷透(東京女子医科大学医学部准教授), 山崎住江(東京女子医科大学八千代医療センター看護師長)／特別講演「臨床で見つけたもの, 大学院で深めたもの」宮子あずさ(東京女子医科大学大学院看護学研究科)／学会理事会企画サテライトセミナー「私が専門看護師になった理由」／一般演題／他
参加費●正会員 4000 円, 非会員 5000 円, 大学院生・認定看護師教育センター学生 3000 円, 看護学生 1000 円
問い合わせ●学術集会事務局
〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学看護学部河田町キャンパス
FAX 03-3341-8832
E-mail nrc-07@nurs.twmu.ac.jp
URL <http://www.geocities.co.jp/nrcwtmu/>



転倒予防医学研究会 第8回研究集会

日時●10/2(日)

会場●ニッショーホール(東京都港区)
プログラム●教育セミナー「よりよい看護に向けた転倒予防の最新知見」①「特発性正常圧水頭症治療が引き出す要介護高齢者の生きる力」平田好文(熊本純麻台病院)・②「ビタミンDと転倒・骨折予防」原田敦(国立長寿医療研究センター)／パネルディス

カッション「転倒リスクアセスメントツールを用いた応用と展開」①「スタッフのリスク意識を高める! 転倒アセスメントを用いた実践」中間浩一(よみうりランド慶友病院リハビリテーション室)・②「エビデンスに基づく転倒アセスメントツールを用いた多因子介入プログラム」白石浩(今津赤十字病院リハビリテーション技術課)・③「回復期リハビリテーション病棟における転倒リスクアセスメントシートを用いた転倒防止対策」藤田正明(伊予病院)・④「大学病院における転倒リスクスコアを用いた取り組み」森本剛(京都大学大学院医学研究科医学教育推進センター)・⑤「公立陶生病院における転倒防止対策の取り組み——臨床と看護系大学院のコラボレーションによる転倒リスクアセスメントツールの改訂と転倒防止対策」森田恵美子(公立陶生病院)／シンポジウム「筋肉減少症(サルコペニア)と転倒予防」①「筋肉の基礎アップデート」橋本有弘(国立長寿医療研究センター)・②「筋肉減少症新しい診断基準」原田敦・③「一般住民における筋肉減少症と転倒予防」金憲経(東京都健康長寿医療センター研究所)・④「高齢患者における筋肉減少症と転倒予防」神崎恒一(杏林大学医学部高齢医学講座)／特別講演「我が人生の歌語り」クミコ

定員●700名

参加費●正会員 6000 円, 非会員 7000 円(いずれも昼食弁当付), 学生 2000 円(当日受付のみ・弁当なし, 要学生証提示)
申し込み●①参加者氏名(フリガナ), ②所属先／職種(資格等), ③会員／非会員の別, ④参加票送付先の郵便番号・住所, TEL／FAX(所属先か自宅かを明記)を明記し, E-mail, FAX, ハガキのいずれかにて申し込み・問い合わせ先●事務局
〒104-0045 東京都中央区築地 1-9-4 ちとせビル 3F
TEL 03-3544-6112
FAX 03-3544-6112
E-mail tentou@ellesnet.co.jp
URL <http://www.tentouyobou.jp/>



第33回 日本創造学会研究大会

日時●10/8(土)・9(日)

会場●東京工科大学蒲田キャンパス(東京都大田区)
テーマ●日本の再生と創造性
プログラム●基調講演「創造性のパラダイム変換——3.11 後の世界から」タン アイ・ガール(南洋理工大学)／シンポジウム「日本の再生に向けて——ケアとデザインの共創の試み」司会:奥正廣(東京工科大学), 「ケ

アとデザインの協働の背景を紹介。職場(現場)での協働実現・実践における基本的問題提起」嶋森好子(東京都看護協会), 「東京工科大学蒲田キャンパスのデザイン系と医療系の教育的現場での協働の実践紹介と問題提起」伊藤丙雄・小松泰喜(東京工科大学), 「看護学関連領域における創造性教育的視点から実践紹介と問題提起」澁谷貞子(つくば国際大学), 「創造的デザイン研究の立場からの問題提起」永井由佳里(北陸先端科学技術大学院大学)／ディスカッション「日本の再生, より創造的な協働(共創)に向けて」

参加費●(事前)正会員 3000 円, 非会員 5000 円, 学生会員 2500 円
(当日)正会員 4000 円, 非会員 6000 円, 学生会員 2500 円
問い合わせ●日本創造学会事務局
〒272-0015 千葉県市川市鬼高 4-7-6-816
TEL 080-3465-6152
FAX 047-314-6380
E-mail jcs@soken-ri.co.jp
URL <http://www.japancreativity.jp/>



第4回 岩手看護学会学術集会

日時●10/15(土)

会場●岩手県立大学講堂(岩手郡)
メインテーマ●現場における気づきの共有・集積を確かな知見へ——明日の元気のために
プログラム●会長講演「看護の現場における気づきの共有・集積を確かな知見へ」菊地和子(岩手県立大学)／特別講演「看護研究が医療を動かす——トランスレーショナルリサーチに基づいた褥瘡研究」真田弘美(東京大学大学院医学系研究科)／めんこいセミナー「臨床でのリサーチクエストから介入研究を進める過程」箱石恵子(岩手県立中央病院)／交流集会「日常の創傷ケア(仮)」／私のワーク・ライフ・マネジメント——だって、一度しかない人生だもの(仮)」
参加費●会員 4000 円, 非会員 5000 円, 学生 1000 円
申し込み●専用申込票による
問い合わせ●事務局
〒020-0193 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字菓子 152-52 岩手県立大学看護学部内
FAX 019-694-2239
E-mail iwatekango@ml.iwate-pu.ac.jp
URL <http://hensyu1.web.officelive.com/default.aspx>



日本精神科看護技術協会 多職種チームシリーズ 認知症

日時・会場 ●
〈京都〉10/22(土)・23(日) 京都研修センター(京都市)
〈東京〉10/29(土)・30(日) 東京研修会場(東京都港区)
受講料 ● 会員 1 万 2000 円, 非会員 1 万 8000 円
対象 ● チームでの援助に携わる多職種のスタッフ, 委員会メンバー
問い合わせ ● 日本精神科看護技術協会事務局
TEL 03-5796-7033
URL <http://www.jpna.jp>



退院調整看護師養成研修 病院と地域のスムーズな連携作り

日時 ● 10/28(金)・29(土)
会場 ● あいおいニッセイ同和損保新宿ビル(東京都渋谷区)
対象 ● 病院・施設・地域で勤務する看護師
目的 ● 退院調整の概要, 背景と政策の動向を理解する。退院調整看護師の役割と機能を理解する。訪問看護師が行なう退院調整を理解する。在宅生活をスムーズに送るためのサービス調整の方法を理解する。事例より院内外のシステム構築の実際を理解する。システム構築・アクションプラン作成の実際を理解する。
プログラム ● 「退院調整とは/ケアマネジメントと退院調整院内チームと地域連携システムづくり/退院調整看護師の役割と機能」篠田道子(日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科) / 「訪問看護師が行なう退院調整」広川直美(ナースステーション東京目黒支店) / 「退院調整が求められる背景——政策の動向/在宅医療・訪問看護の概要と活用方法」山田雅子(聖路加看護大学看護実践開発研究センター) / 「退院調整の実際と院内外のシステム構築——事例より」宇都宮宏子(京都大学医学部附属病院地域ネットワーク医療部) / 「退院調整のシステム構築・アクションプラン作成(グループワーク) アクションプラン発表・まとめ」山田雅子, 宇都宮宏子, 上野桂子(聖隷福祉事業団, 全国訪問看護事業協会)
定員 ● 約 180 名
参加費 ● 会員 1 万 2000 円, 非会員 2 万円
申し込み ● 以下のホームページより申込書

をダウンロードし, FAX または電話にて問い合わせ ● 全国訪問看護事業協会事務局
TEL 03-3351-5898
FAX 03-3351-5938
URL <http://www.zenhokan.or.jp/>



大分県立看護科学大学 第 13 回看護国際フォーラム

日時 ● 10/29(土)
会場 ● 別府ビーコンプラザ国際会議場(大分県別府市)
テーマ ● 看護の展望—Nurse Practitioner に着目して
プログラム ● 「米国の看護の将来——NP に着目して」アン・トーマス(インディアナポリス大学看護学部) / 「韓国の看護の将来——NP に着目して」キヨン・リム・シン(梨花女子大学健康科学大学/大韓看護協会) / 「日本における看護師の役割拡大——特定看護師・診療看護師」草間朋子(大分県立看護科学大学/日本看護協会) / 総合討論
定員 ● 300 名(定員に達し次第締切)
参加費 ● 一般 2000 円, 学生 500 円(資料代等) ※同時通訳レシーバー 1000 円別途
申し込み ● 所属・氏名・同時通訳用レシーバー使用の有無を明記して往復ハガキ, または E-mail にて
申し込み締切 ● 10/14(金)
問い合わせ ● 看護国際フォーラム事務局
〒870-1201 大分市大字廻栖野 2944-9 大分県立看護科学大学
E-mail forum2011@oita-nhs.ac.jp



第 5 回 看護教育研究会学術集会

日時 ● 10/29(土)
会場 ● 東京都看護協会(東京都新宿区)
テーマ ● 変革の時代における看護教育——育み磨く EBN
プログラム ● 会長講演「育み磨く EBN」中村恵子(中京学院大学看護学部) / 教育講演「看護に必要な物理学的思考を育てる」佐藤和良(元愛知県立看護大学) / 一般演題発表
参加費 ● 5000 円
参加申し込み ● 郵便振込(看護教育研究会・00110-5-433244)にて
※未納者は年会費(5000 円), 希望者は昼食代(お茶付き 1000 円)も同時に振込

み可。
※払込用紙の空欄に金額の内訳を記入のこと。



東邦大学看護学部看護学科 第 10 回公開講座

日時 ● 10/30(日)
会場 ● 東邦大学看護学部(東京都大田区)
テーマ ● 病原体から身を守るからだの働き
プログラム ● 「病原体から身を守る免疫の仕組みについて」石川文雄(東邦大学医学部講師) / 「ヒトと共存する菌の役割」小林寅祐(同看護学部教授)
定員 ● 130 名
参加費 ● 無料
申し込み ● 電話または E-mail にて(定員になり次第締切)
問い合わせ ● 東邦大学看護学部看護学科 FD 委員会公開講座担当係
TEL 03-3762-9881(代)
E-mail nrskouza@jim.toho-u.ac.jp



聖ルカ・ライフサイエンス研究所 2012(平成 24)年度研究助成金

助成趣旨 ● ①医学および看護の臨床教育に関する研究, ②臨床疫学, 医療の質並びに病院管理に関する研究, ③予防医学に関する研究, ④看護に関する研究
募集締切 ● 10/15(土) 当日消印有効
※詳細はホームページ参照
a. 臨床疫学等に関する研究費助成
助成対象 ● 上記研究に従事する個人または研究グループ(所属不問)
助成金額 ● 1 件 50 ~ 100 万円
募集件数 ● 20 件程度
研究期間 ● 2012 年 4 月から 1 年間
b. 臨床疫学の若手研究者の海外派遣費助成
助成対象 ● 2012 年 4/1~2013 年 3/31 に 1 年以上の海外留学を開始する(希望する)個人 / 1972(昭和 47)年 4/2 以降生まれの者 / 申請書提出時点で TOEFL80 点以上, または TOEIC700 点以上
助成金額 ● 1 名 300 万円
募集件数 ● 3 件
問い合わせ ● 同研究所
〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1
TEL 03-5550-4101(内線 6380)
E-mail sllsi@luke.or.jp
URL <http://sllsi.luke.or.jp/member4.html>